

科目ナンバリング		U-LAS01 10009 LJ38							
授業科目名 <英訳>	西洋史II Western History II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 佐藤 公美				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	歴史・文明(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	木3/金3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>本講義のテーマは、中世ヨーロッパの地域的、もしくは局地的共同体(ローカル・コミュニティ)である。社会的動物でありかつ「個人」である人間は、個的存在様式と集団的存在様式の絶えざる緊張関係の中を生きる。だから社会的生の基盤には、他者とのつながりを創り、断ち切り、結び解き直す経験の集団的蓄積がある。私たちは他者ととも「こう生きたい」と望み、共同性のありようをイメージするが、その基盤にある価値観や感情は人類の歴史的経験に根差しているのだ。中世ヨーロッパの共同体は、その不可欠の一角を占める。共同体の宗教的側面については前期の「西洋史I」で扱い、本講義では地域的に限定された場所での人々の共在を共同体の形成維持の第一要因とするもの(ローカル・コミュニティ)を扱う。無論中世ヨーロッパにおいて聖俗の厳密な境界を定めることは難しい。むしろローカル・コミュニティを介してこそ、人々を結び付ける聖と俗の絆の絡み合いとキリスト教のユニヴァーサル性とローカル性の緊密な結びつきが一層明確に浮上することだろう。</p>									
[到達目標]									
<p>(1) 中世ヨーロッパの地域的共同体の基本的特徴を理解する。 (2) 中世ヨーロッパの地域的共同体に関わる西洋中世史の基本的事項を理解する。 (3) 中世ヨーロッパの地域的共同体に関する研究上の論点を理解する。 (4) 中世ヨーロッパの地域的共同体に関する参考文献を適切に活用することができる。 (5) (1)～(4)に基づく自らの考察を自らの言葉で適切に表現することができる。</p>									
[授業計画と内容]									
<p>以下のテーマについてそれぞれ1～4回前後の授業を行う。授業回数はフィードバックを含めて15回とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション - なぜローカル・コミュニティの歴史を問うのか 2. 都市共同体 3. 「農村」共同体 4. 教区共同体 5. 地域に根差し、地域を超える 人的結合の諸形態 									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
<p>期末試験または期末レポート試験</p>									
----- 西洋史II(2)へ続く -----									

西洋史II(2)

[教科書]

使用しない
授業中に参考資料やレジュメを配布する。

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業中に紹介する参考文献や史資料を適宜あわせて読むこと。

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]